



伊豆半島の入口、伊豆中央道の料金所を越えた山の中腹に長岡中学校はあります。生徒たちは300メートル近くある急な坂を登って登校してきます。環境に恵まれ、校舎の裏の竹林からはうぐいすの鳴き声が聞こえてきます。校舎内のエアコンも早い時期から設置され、夏も冬も快適な学習環境が整っています。通学路には伊豆長岡温泉の湯煙が湧く足湯があり、イチゴのビニールハウスや柿畑が広がるのどかな所です。全校生徒は378人の中規模校です。『夢や希望を持ち地域社会に貢献できる生徒の育成』の学校教育目標のもと、

本校は、浜松市のほぼ中央に位置する浜北区にあり、東に天竜川が流れ、西に三方原大地を望む豊かな自然に囲まれた、全校生徒607人の中学校です。生徒たちは、体育祭や合唱コンクールなどの学校行事に全力で取り組み、部活動では、多くの大会で良い成績を残すことができていると、活気ある生徒たちの活躍する姿を見ていると、感動し、胸が熱くなります。学校教育目標は「志をもって 自立できる生徒」です。生徒たちが3年間の生活を通して、将来に対する「夢

先輩から引き継がれた『長中魂』が生徒の誇りになっています。たま・し・いの一文字ごとに意味が込められたのは7年前だと聞いています。当時の先生方と生徒会が中心となり、長中生に正しい道を歩いて欲しいという強い願いを込めてたまし



に命を吹き込み、現在に受け継がれています。本校の生徒はいい意味で教師との距離感が近く、人懐っこいんです。本来持っている子どもらしさ、素直さを失わずに、難しい人間関係の中でも笑顔で明るく生活している子が多いです。地域とのつながり

りも強く、お祭りや地域の行事には、太鼓やソーラン踊りなどで中学生が欠かせない役割を担っています。休み時間の保健室は賑わいますが、2分前学習が徹底しているため、3分前には誰ひとりいなくります。チャイムが鳴る2分前は学

伊豆の国市立長岡中学校

養護教諭 土屋 智美

校中が静寂に包まれることも、本校の自慢の一つです。昨年度から養護教諭の私が「特別支援コーディネーター」を兼ねています。今更以上で生徒の心の健康に頭を悩ますことが多くなりました。心の回復力「レジリエンス」を育てることを意識し、

て、一緒に勉強ができました。子どもたちは色々な顔を持っていて、保健室で見せる顔と教室で見せる顔では全く違うこともあり。なるべく校舎内を回り、部活動にも顔を出し生徒理解に努めています。中学生時代は多少の困

保護者、担任、カウンセラー、医療機関との橋渡しに奮闘しています。昨年度は学年部のローテーション道德のひとりに加えていたただき、1年生と2年生のクラスでLGBTの授業をさせてもらいました。性の多様性につい



難を乗り越ええられる、たくましさを感じたいと思います。つらいことから逃げたい、そんな子どもたちを励ましてその気にさせ、たまにはゆっくり休むことも勧めながら、ひとりひとりに合ったいい加減を見つけて導いていける養護教諭でありたいと思っています。長岡中学校での仕事はとても充実していて、子どもたちの成長に感動しながら、やりがいを感じています。



や希望」をもち、卒業時には、その「夢や希望」に向かって力強く羽ばたいていくことができる「資質や能力」「自分らしさ」を備えた「人づくり」を目指し、教職員も生徒も学び、育ちを繰り返していくことが必要であると考えて

浜松市立浜北北部中学校

養護教諭 前田 智恵子

なり、体調不良を引き起こす生徒も多いので、このような活動の重要性を感じています。保健室では、「自分の心と体を大切にし、健康管理・増進ができる生徒」を目標に取り組みんでいます。健康診断を年3回発行している小中学校共通のアンケートを実施し、生

保健室からの押しつけにならないように、よく話し合っていることが大切だと思っています。校区の小学校との連携として、校区だより「ほかほか」を年3回発行しています。小中学校共通のアンケートを実施し、生

います。本校では「人間関係づくりプログラム」を取り入れた生徒指導を継続的に行っています。学校保健委員会でも、ピアサポートを取り入れた活動を行いました。保健室の来室理由の中にも、人と

0%を目指し、年3回の治療報告と治療が早く終わったクラスの表彰で生徒と家庭の意識を高めています。学校保健委員会の他にも、思春期教室（各学年）、薬学講座、救急蘇生講座など保健行事を学年と連携し行っています。



活習慣の見直しを家庭に呼び掛けたり、学校保健委員会の内容を掲載したりしています。養護教諭同士の連携、情報交換にも役立っています。本校には、浜松市の養護教諭補助員制度で午前中のみですが、養

げんきな事業所

熱海市役所

熱海市は県の最東部、伊豆半島の北東部に位置し、県境を挟んで神奈川県と接しています。また、市域には県内唯一の有人離島である初島を有しています。

多くの文人に愛され、別荘地、温泉リゾート都市の代表として栄えてきました。その熱海市の中央に位置する熱海市役所には、市庁舎をはじめ、支所、消防署、保育園、幼稚園、小・中学校及び図書館ほか公共施設等に約650人の職員が勤務しています。

【職員の安全と衛生管理】 熱海市役所では、労働安全衛生法に基づき、職場に応じて、衛生委員会、安全衛生推進者、衛生推進者を設置し、熱海市役所衛生委員会を開催して、職場の健康づくりや災害防止対策など環境改善に努めています。また、月に1回、衛生委員会の委員が庁舎内を巡回し、快適な職場環境の形成や職員の健康保持を図っています。さらに、

安全衛生講習会への参加など、安全衛生生活の活性化にも努め、安全に対する意識向上に取り組んでいます。

【健康管理】 職員の健康状態を把握し、適切な業務上の措置や疾病予防のために全職員を対象に定期健康診断、職種に応じて予防接種を実施しています。また、定期健康診断の結果に重要な所見があった職員に対しては、再検査結果報告書の提出を求め、早期発見・早期治療を行うよう図っています。さらに、職員が自らの健康を守るために行動を起こす動機付けとなるよう、保健師による特定保健指導を推奨し、職員の健康管理に努めています。



保健活動（職場巡回）

メンタルヘルスの取組み

近年、ストレスの多い社会の中で、職員一人一人が心身ともに健康で職務を遂行することができるよう、精神面のケアが非常に重要となっています。熱海市役所では、自身のストレスに気づき、早期に対処することや職場環境の改善を通じてメンタルヘルス不調となることを未然に防止するために全職員を対象にストレスチェックを実施しています。また、ストレスチェックで高ストレス者と判定された職員に対し、産業医による面談指導を受けるよう働きかけを行っています。さらに、職場や家庭での不

安や悩みなどを気軽に相談することができるよう、精神保健福祉士による健康よろず相談「モヤモヤ相談室」を月に1度開設しています。また、過重労働による健康障害を防ぐために、毎月第一水曜日を定時退庁デーとし、時間外労働の削減に取り組んでいます。

今後とも安全で衛生的に職務に専念できる職場づくりにより、熱海市が目指す「日本でナンバー1の温泉観光地づくりに」「住まうまち熱海づくりに」「市民のための市役所づくり」の実現に向けて職員一人一人が取り組んでいます。

熱海市役所



熱海市全景



熱海市役所